

公益社団法人 全国出版協会 2024 年度 事業報告

1. 一般情勢

当協会・出版科学研究所調べによる 2024 年（1～12 月期）の「紙」と「電子」を合算した出版市場規模推計は、前年比 1.5%（247 億円）減の 1 兆 5,716 億円。3 年連続の前年割れとなりましたが、落ち幅は縮小しています。

紙の出版物販売金額（書籍・雑誌）は前年比 5.2%（556 億円）減の 1 兆 56 億円。内訳は「書籍」が同 4.2%（257 億円）減の 5,937 億円、「雑誌」が同 6.8%（299 億円）減の 4,119 億円です。紙市場はかろうじて 1 兆円割れを回避しましたが依然厳しい状況が続いています。一方、既存店における書店店頭の売り上げは、書籍が前年を上回るなど回復傾向がみられます。この乖離の原因は書店数自体の減少であり、日本出版インフラセンター（JPO）書店マスタ管理センター発表による 2024 年度（25 年 3 月 25 日集計時点）の総店舗数は 10,417（前年より 501 減）、坪あり店舗数は 7,673（同 378 減）と落ち込みに歯止めがかかっていません。

書籍の店頭売り上げでは、文芸書、ビジネス書、学参、地図ガイドなどが好調でした。文芸書では『変な家』『変な絵』に代表されるドキュメンタリーの手法を用いてフィクションを演出する“モキュメンタリー”ホラーが人気。本屋大賞受賞の『成瀬は天下を取りにいく』もよく売れました。ビジネス書は新 NISA 開始を背景に投資関連・マネー本が牽引。学参はキャラクターを用いた小学生向けドリルや教科書改訂のため高校学参が好調でした。そのほか絵本では『大ピンチずかん』『パンどろぼう』シリーズが前年に引き続き売り上げを伸ばし、文庫ではガブリエル・ガルシア＝マルケス『百年の孤独』の文庫化が話題になりました。

雑誌の内訳は「月刊誌」が前年比 6.3%減の 3,494 億円、「週刊誌」が同 9.3%減の 625 億円。創復刊点数は過去最低だった前年より 2 点増の 27 点。休刊点数は同 25 点増の 89 点。『MORE』『Mart』『steady.』『ポポロ』などが休刊しました。紙コミックスは 3 年連続の大幅減。アニメ化による新規ヒットがありつつも前年、前々年の規模には及ばず、既刊も伸び悩んでいます。

電子出版の市場規模推計は前年比 5.8%（309 億円）増の 5,660 億円。内訳は「電子コミック」が同 6.0%増の 5,122 億円、「電子書籍」が同 2.7%増の 452 億円、「電子雑誌」が同 6.2%増の 86 億円。全ジャンルでプラスになりました。電子コミックはストアオリジナルや出版社と協力した独占・先行配信の強化、縦スクロールコミックも好調で依然成長を続けています。電子書籍はライトノベルや写真集の好調により、電子雑誌は「d マガジン」などサブスクリプションの値上げによりプラスになりました。

紙+電子市場の占有率は紙が 64.0%、電子が 36.0%。前年から電子が 2.5 ポイント上昇しました。

2. 協会活動の概況

2024 年度の経常収益計は 4,653 万円（前年比 106.2%、予算比 113.8%）、経常費用計は 3,617 万円（前年比 88.9%、予算比 90.7%）、当期経常増減額は 1,036 万円（前年比 328.7%、予算費 1049.2%）でした。この結果、正味財産期末残高は 4,175 万円となりました。入会は 1 社、退会は 1 社、会員社数は前年同数の 95 社、会員数は 96 名となりました。

収入面では、事業収益の大半を占める刊行物頒布による収入が 1,989 万円と予算に対し 421 万円のプラスになりました。『出版指標年報』は微減となったものの、「全誌購読」「季刊出版指標」の定期購読数が予算を大きく上回りました。

正会員会費計は 960 万円（前年に対しマイナス 10 万円）、寄付金はトーハンからの 1,600 万円に加え、個人寄付 100 万円があり計 1,700 万円（前年に対しマイナス 100 万円）となりました。

支出は、人件費の圧縮等により前年に対し 450 万円のマイナス、予算に対し 372 万円のマイナスと大幅に減少しました。

3. 会員状況

会員数 95 社 96 名（2025 年 3 月末現在）

入会社 TO ブックス

退会社 小峰書店

（トーハンが会員数 3 名から 2 名に変更、理事長交代により会員数は前年に比べ 2 名減）

4. 出版物に関する調査研究成果の発表

（1）出版物に関する調査研究をもとに、以下の刊行物を発行しました。

1）定期刊行物 2 点

季刊出版指標	（季刊）	4 冊
出版指標 年報 2024 年版	（年刊）	1 冊

全協会員社および定期購読者に月次統計データ「出版指標マンスリーレポート」PDF 版の提供を行いました。

2）刊行物購読口数（25 年 3 月末現在）

全誌購読コース	195 口
季刊出版指標コース	221 口

5. 情報提供（レファレンスサービス・取材対応）

（1）照会件数

照会先・取材先	件数	照会先・取材先	件数
出 版 社	31	出 版 団 体	6
新 聞 社	71	書 店	4
テ レ ビ ・ ラ ジ オ	55	学 校 ・ 学 生	6
一 般 個 人	12	印 刷 ・ 製 本 ・ 用 紙	3
研 究 ・ 調 査 機 関	16	業 界 紙	1
取 次 会 社	35	諸 団 体	9
官 公 庁 ・ 自 治 体	4	電 子 出 版 関 連	3
金 融 ・ 証 券	7	W e b ニ ュ ー ス	1
海 外	2	合 計	266

（前年度照会件数 257 件）

（2）照会方法 電話 150、メール・HP お問い合わせフォーム 97 件、
来所（ZOOM 等含む）19 件

6. 文字・活字文化の振興および啓発

高橋松之助記念顕彰財団の活動に人的協力を行い、第 17 回「朝の読書大賞」「文字・活字文化推進大賞」贈呈式をはじめとする顕彰事業の協賛をいたしました。

以上